学校番号	403

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	数学Ａ Select　（東京書籍）						
副教材等	Select Buddy ASSIST　数学Ⅰ+Ａ　（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①　問題集用のノートを用意しましょう。
②　問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしましょう。答え合わせは、自分の弱点を知るための大切なものです。
③　家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
④　授業中のノートについては板書を書き写し、また、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)　図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)　図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力を身に付けている。 不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けている。 数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第2章図形と性質	第１節 三角形の性質 ・内分・外分と三角形の重心 ・三角形の外心・垂心 ・角の二等分線と三角形の内心 ・三角形における比の定理	a:線分の内分,外分、三角形の外心,内心,垂心、チェバ,メネラウスの定理など、平面図形における様々な基礎的内容を理解している。 b:定理の証明を正確に読み取り、論理展開を正しく説明できる。三角形の内心，外心，重心の性質を，それらの違いや関係も含めて理解し，条件からどのような点であるか判断できる。 c: チェバの定理，メネラウスの定理に興味を示し，積極的に考察しようとする。三角形の辺と角の大小関係という明らかに見える性質を，論理的に考察しようとする。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出

		第２節 円の性質 ・円周角の定理とその応用 ・方べきの定理 ・２つの円 ・内分点の作図と平方根の作図	a:円周角の定理、接弦定理、方べきの定理など、平面図形における様々な基礎的内容を理解している。 b:定理の証明を正確に読み取り、論理展開を正しく説明できる。 c: 図形の性質に関心をもち、他の性質も考察しようとする。 三角形の外接円は必ず存在するが，三角形以外の場合は必ずしも存在しないことから，四角形が円に内接する条件を考察しようとする。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
		第３節 空間図形 ・直線と平面 ・正四面体	a:空間における２ 直線の位置関係やなす角について理解している。多面体どうしの関係を利用し、体積などを求めることができる。 b:空間における直線や平面の位置関係について理解し、与えられた条件から垂直や並行などの判断が正しくできる。 c: 三垂線の定理やオイラーの多面体定理に興味を持ち、図形の考察に活用しようとする態度がある。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
２学期	第１章 場合の数と確率	第１節 場合の数 ・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ	a:和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。樹形図などの基本的な考え方を用いて、様々な場面においての場合の数を求めることができる。 b: ，誤った考え方について批判的に考察するとともに，それについて説明することができる。条件のある場合の数において条件を的確に判断して総数を求めることができる。 c:条件のある場合の数について複数の求め方を考えたり、それらを比較検討しようとする。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出

		第2節 確率とその基本性質 ・事象と確率 ・確率の基本性質	a: 試行の結果の割合が近づいていく値として確率の意味を理解している。確率の定義を用いて，簡単な確率を求めることができる。 b: 根元事象が同様に確からしいことの意味を理解し，何を区別して確率を求める必要があるかのことなどの理由を説明することができる。 c: 統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。条件のある確率について複数の求め方を考えたり、それらを比較検討しようとする。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
		第3節 いろいろな確率 ・独立な試行の確率 ・反復試行の確率 ・条件付き確率 ・期待値	a:独立な試行の確率や条件付き確率を求めることができる。 期待値の定義を理解し、それを求めることができる。 b:様々な事象の確率について、状況を正しく判断し、適切な方法で確率を求めることができる。 期待値を用いて損得や有利不利の判断ができる。 c:くじ引きの確率や原因の確率など日常的な場面における確率に関心をもち、考察しようとする。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出

3学期	第3章　数学と人間の活動	第1節 生きている数学 ・身近にある数学 ・文明と数学	a: 平面や空間において点の位置を表す座標の考え方と人間の活動との関わりについて理解している。数学史的な話題を通して，数学と文化との関わりについての理解を深めている。数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。 b: 日常の事象を数学の考えを用いて考察し，問題解決にそれらを利用することができる。人類史的な話題に数学的な要素を見いだし，目的に応じて考察することができる。 c: 事象を数学の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを利用しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めようとしている。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
		第2節 考える楽しさ ・遊びの中の数学 ・整数の世界	a:倍数の判定法を理解し、それらを用いて数を調べることができる。互除法の原理を理解し、問題に応用できる。 b:事象を数学的にとらえ、整数に関わる性質を用いて考察できる。互除法の原理を有理数や実数の範囲に拡張し、その結果について考察することができる。 c: 日常生活における具体的な事象に約数と倍数の考えが活用されていることを理解し，具体的な事象についてそれを確認したり考察したりしようとする。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度